矢板の一番物語

市内にあるレトロさが魅力のお店を紹介します！！

こまものやよさぶろう

古民家にレトロなカメラや雑貨がいっぱい!!

平成二十七年四月に、成田にある築一〇〇年を経た古民家（広さ八十畳）をリフォームしてオープンした「こまものやよさぶろう」。このお店は、アンティークカメラがなんと四百台も並び、ぜひ一度は訪れてほしいところです。五代目店主の大貫与三郎さんにそのこだわりを伺いました。

●カメラを集めるようになったきっかけは？

小学三年生の時にヤシカ16カメラを父に買ってもらい、愛用していました。さらに、大学生の時には、父が持っていたカメラ、アイレス35レンジファインダーを使うようになったのをきっかけに、カメラの魅力にとりつかれました。

●いつ頃から骨董雑貨店をやろうと思っていましたか？

十年以上前から、祖父母が残した生家とたくさんの生活用品を利用したいと思っていました。メインのカメラのほかに、国内外のかわいい雑貨や切手・コイン、昭和のレトロ人形なども扱っています。

●アンティークカメラの魅力は？

古いカメラは整備すれば、半世紀は使うことができます。最新の自動カメラとは違い、シャッター速度、明暗の絞り、ピント合わせなど撮り手の腕前が必要です。ほかの人には撮れない、自分だけの一枚が撮れることが魅力です。

●よさぶろう寫眞倶楽部とは？

会員になると販売価格から二割引で購入でき、カメラの整備や暗室の利用料、カメラのレンタル料などの割引もあります。会費は無料で、現在の会員は十人ほどです。

●集客のためにしていることは？

インターネット（フェイスブックなど）を見て、横浜など県外からお客さんが来てくれることもあります。また、地域の活性化につなげようと、地域の子どもが遊べるように、裏山を整備し、店舗回りも紹介する「よさぶろうおさんぽマップ」を作成しています。

さらに、毎月季節にあわせたイベントを行っています。二月十九日（日）には、やきいも会を参加費三百円で予定しています。（四三）五〇八五まで電話予約して、ぜひご参加ください。（K・H）

栃木県内外のカーマニアをサポートする

オートショップ㈲ウッドベル

喜連川工業団地すぐ手前、越畑地内にある自動車修理工場㈲ウッドベルの事務所には、いろんなジャンルのレトロ調の品物が所狭しと保管されています。

そんな珍しい修理工場社長の鈴木忠さん（五十六歳）にお話を伺いました。

●この工場の特徴は？

平成元年に二十九歳でこの修理工場を開業しました。一般車の販売や車検・整備、修理などを行っています。修理などの履歴は、データ管理し、顧客に便利なように利用していただいています。

それとは別に、カーマニアの方からの旧型車や外車の修理の依頼に対応しています。若い時に古い資料を集め、勉強したことが役立っています。

●レトロな品物をこんなに集めた理由は？

高三の時に、自動車の整備工場を開業しようと決意し、認証工場を取得するのに必要な工具類や資料をアルバイトをしながら集め始めたところ、だんだん知人が増え、その知人の紹介でいろんな品物が集まるようになりました。

もったいないの気持ちから、そのまま継続して保管しているうちにこんなレトロ調な品物がたくさん集まりました。

●映画に出演されたそうですが…

私が出演したのではなく、映画「オールウェイズ三丁目の夕日」に車工場のセット、内装、工具類を提供しただけです。知人がうちの工場が映画会社のイメージしているレトロ感や雰囲気と合致するだろうと紹介してくれたので、実現しました。

●珍しいタイのタクシーがありますが走りますか？

このタクシーは、資料を見ながら整備し、先般の軽トラ市にも展示しました。二十年、三十年前の旧型車でもその当時の規制をクリアーすれば走行できます。

口コミで県外からも古い車のことで相談に来たり修理を依頼される人がやってきます。興味のある方は、ぜひお越しください。（T・M）